



推進責任者

執行役員 広報部長

倉坂 昇治

基本的な考え方

当社グループが、地域、社会から信頼される企業となるためには、「透明性の高い健全な経営」を行うことが不可欠です。私たちは、当社グループの経営情報や事業活動におけるさまざまな取り組み、リスク情報などについて、正しく「分かっていた」ために、積極的な情報開示を行っています。

P 社会の視点や感度を踏まえた広報活動

D 「分かっていた」ための取り組み

経営情報や安全にかかわる情報などを迅速・正確にお知らせするため、毎月1回の定例社長記者会見などのプレス発表や、企業ホームページ、駅・車内のポスターなど、多様な広報手段を活用し積極的に情報発信しています。

情報発信にあたっては、2013年度からの5年間で取り組んでいる「JR西日本グループ中期経営計画2017(=以下、「中期経営計画」)」および「安全考動計画2017(=以下、「安全考動計画」)」に沿って、進めている施策を丁寧に説明するよう努めています。

また、ホームページでは、各種経営情報や発表資料のほか、定例社長記者会見や企業紹介をはじめとする動画の配信を行っています。



定例社長
記者会見動画

HP <http://www.westjr.co.jp/company/ir/movie>



列車の運行情報については、海外からのお客様にも分かりやすい情報提供に努めています。

また、お客様にご迷惑をおかけした事象や不適切な事象などが発生した場合には、その都度速やかに発信しています。

企業紹介動画



HP <http://www.westjr.co.jp/company/info/outline/movie/introduction.html>

D 広報力基盤の維持、底上げ

組織的な広報力の向上を図るため、当社およびグループ会社の広報担当者に研修を行っています。

また、重大事故などの発生時に適切な情報が発信できるよう、役割分担や連携を確認するための訓練を実施するなど、危機対応広報能力の向上に努めています。

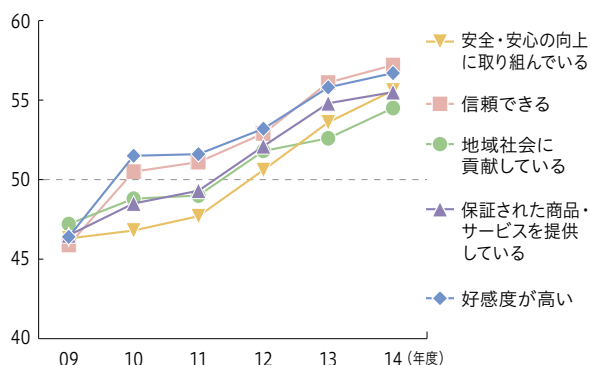
C 企業レピュテーション*2調査による評価は向上

社会の視点や感度を踏まえて、より適切に情報を発信するため、毎年定期的に外部調査を実施しています。「中期経営計画」の施策に関係の深い5項目の評価向上を目指し、安全の取り組みをはじめとする広報活動を展開してきました。

2014年度は着実な改善が見られましたが、現在当社グループで進めている地域社会に貢献する取り組みなどをさらにわかっていただくための情報発信が必要であると確認できました。また分析の結果、安全の取り組みのほか、「お客様の声」のサービスへの反映も、全体の評価向上に効果的であることが分かりました。

企業レピュテーション調査結果

重要テーマの評価推移(50を標準とする評価値)



A JR西日本グループとしての体系的な情報発信をめざします

「中期経営計画」や「安全考動計画」の進捗状況に関する取り組みを積極的に情報発信していきます。

特に、安全とCS、地域共生企業としての取り組みについて、

JR西日本グループ全体で分かりやすい広報に努めていきます。

また、ホームページでは、海外からのお客様を含めて丁寧な情報発信を行います。

用語解説 *2レピュテーション:企業に対して一般の方々が抱く印象の総体を指します。